



2025年度「女子学生チャレンジプロジェクト」採択者を決定しました

本学では、DEIB（ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン & ビロニング）推進の一つの取組として、研究活動においても、女子学生が今よりもましてリーダーシップやイニシアティブを発揮できる環境づくりを目指します。

「女子学生チャレンジプロジェクト」は、女子学生がチームリーダーとなって、自らの好奇心や探求心を核とした新しい課題に挑み、メンバーと多様な視点から議論し、チームで協働するプロセスを通じて、研究の面白さを感じられるような活動を後押しします。

今年度は31件の多岐にわたるテーマの応募があり、書類選考の結果、11件がヒアリング審査に進み、最終的に4件が採択されました。



2025年度「女子学生チャレンジプロジェクト」採択者

氏 名	所属・学年	テ ー マ
大同 唯和	農学部4年	地元資源を利用したプラスチック削減プロジェクト ～放置竹林の活用に向けた実践研究～
Zar Zar Win Thein	アジア・アフリカ 地域研究研究科5年	Community-Based Psychological Support and Socioeconomic Assessment for Post-Earthquake Recovery in Sagaing, Myanmar
三木 恵里子	教育学研究科 博士後期課程4年	誰もが「幸福」を感じられるトイレへ ～多様なニーズに応える京大らしい空間設計の提案～
南沢 想	工学部4年	書物にまつわる新たな場の創出をめざして： フェミニズム・ジェンダー表現にかかわる独立系書店／リトルプレス／私 設図書館の実践調査とアーカイヴ、および古本市の開催による試み

これを受けて、2025年7月7日に、学童保育所 京都大学キッズコミュニティ（KuSuKu）にて、総合研究推進本部の藤田 弥世、森山 理美、齊木 あやの各リサーチ・アドミニストレーター（URA）の協力により、採択チームを対象としたオリエンテーションを実施しました。

まず、平山 朋子 理事補（男女共同参画担当）からの挨拶で、各チームへの期待が述べられました。その後、参加者の自己紹介が行われ、和やかな雰囲気の中でオリエンテーションがスタートしました。

続く、藤田 URA による「プロジェクトマネジメント研修」では、タスク管理やメンバー間のコミュニケーションの取り方など、プロジェクトマネジメントの基礎知識についての説明やグループワークが行われました。グループワークを通じて、他のプロジェクトチームのメンバーとも活発に意見交換が行われ、参加者同士の距離が徐々に縮まりました。研修は日本語で行われたため、海外出身のメンバーには適宜齊木 URA のフォローが入りました。

その後、森山 URA が進行する形で、各チームのピッチ発表と質疑応答では、グループワークの効果もあり、活発な意見交換がなされました。イベント終了後も、チームを越えた交流や情報共有が盛んに行われました。

採択チームは今後、設定した研究計画に沿って 2026 年 2 月末まで活動し、3 月に成果報告を行う予定です。



平山理事補による挨拶



オリエンテーションに参加したメンバーと平山理事補

「女子高生へのメッセージ」ホームページで公開中

京都大学を目指す女子高生へ向けた各種紹介記事をホームページで公開しています。

「女子高生へのメッセージ」動画では、京都大学を卒業し、社会へ出て活躍している女性の先輩たちから、現在の仕事について、大学時代の勉強と生活、そして高校時代どう過ごしていたかなどの話を聞くことができます。最後には進路に悩んだり、受験に不安を抱えている女子高生への応援メッセージが収録されています。新しく卒業生の動画が加わりました。

<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/story/message/>

また、学生・研究者・卒業生紹介サイト「MY STORY」では、最新のトピックスとして、理系学部的女子学生のクロストークなどを公開しています。こちらも是非ご覧ください。

<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/mystory/>



病児保育室「こもも」医学部附属病院での事前診察再開

病児保育室「こもも」において、新型コロナウイルス感染症の影響等により一時中止していた医学部附属病院での事前診察を、2025年6月11日（水）より再開しました。当日に「こもも」の利用を希望され、同院での事前診察を希望される場合は、予約時にその旨をお伝えください。診察時間は8時45分～12時00分です。

また、新型コロナウイルス検査については、従来は必須としていましたが、今後は症状や流行状況に応じて実施する方針へと変更しました。さらに、病児保育室の予約についても一部、予約フォームからの受付を開始しました。詳しくは以下までお問い合わせください。

京都大学 病児保育室「こもも」

メール：byojih@kuhp.kyoto-u.ac.jp

電話：075-751-3090（平日8:30～17:00）

京大病児保育室
こもも

開室日時 月曜日～金曜日 午前8時～

場所 医学部附属病院 外来棟5階
※外来棟東玄関（東大附属病院）から入って北側にあるエレベーターにて5階へ。廊下にて待機していただきます。

料金 1時間500円（昼食込み）
※お持ち込みは各自持ち込みください。※夜間帯や学生等の場合は、利用料金の半額を大学が負担します。

利用資格 京都大学の教職員および学生の生徒6ヶ月から小学校6年生までの子どもで病中・病後の子ども

利用方法など、詳細は男女共同参画推進センターのホームページで！
<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/support/care/sick>

メンター相談

京都大学男女共同参画推進センターでは、女性の先生方にメンターをお願いし、女性の学生、院生、研究者の相談を受けています。「研究分野の選択で迷っている、研究を続けることに漠然と不安がある、研究分野を変えたい」など、研究上のことで困ったときはもちろんのこと、キャリアに悩んだりアドバイスが欲しいときなど、相談に対応しています。

2025年度メンターには理系87名・文系31名が登録されています。また、48名が英語でも対応しています。

ご利用の際は下記URLをご覧ください。

<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/support/consult/mentor/>（日本語）

<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/en/mentor/>（英語）

女性のみなさん
その悩み、
**メンターに
相談してみよう。**

研究分野の選択で迷っている、研究を続けることに漠然と不安がある、研究分野を変えたいなど、研究上のことで困ったときはもちろんのこと、キャリアに悩んだりアドバイスが欲しいときなど、相談に対応しています。

2025年度メンターには理系87名・文系31名が登録されています。また、48名が英語でも対応しています。

ご利用の際は下記URLをご覧ください。

1 下記アドレスから登録センターまでダウンロード
<https://qr.pops.jp/ZH5j0>

2 登録センターに記入した登録フォームをメールで送信してください
w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

お問い合わせ先 075-753-2437
（京都大学男女共同参画推進センター）